

# いごいごのベンチ、ちっくと休んでいきや。



地域のお宝情報誌  
Vol.12  
2021年10月発行

今回は、いの町社協主催で、いの町あったかふれあいセンターで開催された「子どものつどい」のベンチ作りに参加しました♪このベンチ作りは、いの町森とのふれあい促進支援事業を利用したイベントです。木材を使うことで森林に関心をもってもらいたいとの思いで、昨年度から開催されています。



いの町森とのふれあい促進支援事業とは、森林・林業への関心を高め、理解を深めるために行う普及啓発活動を支援する、森林環境譲与税を活用した補助事業です。

お問い合わせは、いの町森林政策課までお願いします。

(TEL 088-867-2322)



子どもたちが、電動ドライバーやノコギリを上手に使って、立派なベンチを作ってくれました。いの町で活動している男性のつどい「Gの会」のメンバーに手伝ってもらい、休憩時にはみんなで輪投げ対決をして遊んだり、楽しく交流することができました。



新型コロナウイルスの感染が広がり、人と人との交流が制限されています。しかし、人と語り合うことは心の健康にとって大切です。このベンチに座り、友人や家族と語り合える日常が早く戻って欲しいと願っています。



みんなで一緒に作ったベンチは、すこやかセンター伊野のバス停横に設置しています。お近くにお立ち寄りの際は、座って木の温かみを感じてみてください！



生活支援コーディネーターは、皆さんが活躍できる町、いの町を目指して活動しています。私もベンチ作りしたい！などのお声をお待ちしています。お問い合わせは裏面まで。



# あったかへ来るのが、私の楽しみながやき。



地域のお宝情報誌  
Vol.12  
2021年10月発行

**吾**北あつたかふれあいセンター（あつたかこころ）で開催された集いに参加しました。あつたかこころでは地域住民を対象とした集いを開催しており、今回は「サテライト清水」にお伺いしました♪



**今**回は折り紙でブドウを作りました。「こうやって作ったら良いで」などと話をしながら、時折笑い声に包まれることも。とてもゆったりした素敵な時間を過ごすことができました。



**参**加者の方から、ご主人が亡くなり一人で過ごしていた所、あつたかこころに誘ってもらったとの話を聞かせてもらいました。その参加者は、「ここ（あつたかこころ）があって本当に良かった。こうやって人と話ができることも嬉しい」と笑顔で伝えてくれました。この話を聞き、あつたかこころの存在は、参加者の支えとなっており、貴重な交流の場となっていると感じました。



**集**いが終わった後は、買い物支援を実施しており、帰り道に地区内の商店等に寄って、買い物をしています。



**新**型コロナウイルスの影響で、地域の集いを継続することも難しくなっています。その中で、あつたかこころが、感染対策に留意し、集いを開催していることは、いの町の大切な地域資源であると感じました。新型コロナウイルスの感染が広がり、隣近所・知人と話すことも遠慮してしまうかもしれません。しかし、電話で話すことや絵手紙など、いつもとは違う交流・集いを楽しんでみるのも良いのではないのでしょうか。

お問い合わせは、  
すこやかセンター伊野内、  
地域包括支援センター  
生活支援コーディネーター  
長崎まで  
**(TEL088-893-0231)**